



# 2020年1月号 セゾン投信 月次運用レポート

## 長期投資家の皆さまへ

長期投資家の皆さま、あけましておめでとうございます。2019年の金融市場は終わってみれば先進国の低金利政策を支えに株式市場が上昇傾向を続けて、米国では史上最高値を更新して、欧州でも総体的に最高値圏のまま新年を迎えることとなりました。

年間を通じて相場動向に大きな影響を及ぼした米中貿易協議が年末に部分合意に至り、併せてもうひとつの経済不確実性の要因だった、英国の欧州連合(EU)離脱問題も秩序ある離脱への方向性が定まったことで、世界の市場全体が低金利下の株高という「適温相場」再現へと導かれたわけです。

米中摩擦が世界の経済活動を停滞させ、米国でも景気減速への市場の懸念が米金融当局を再び金融緩和に向かわせる圧力となったのですが、現状に至り米国景気の失速懸念は大きく後退し、米年末商戦も株高効果が消費者心理を好転させて好調に推移して、世界経済全体に明るさを取り戻した楽観が支配する中で2020年が始まりました。

「セゾン号」の両ファンドも共に基準価額が最高値圏にありますが、上昇トレンドがずっと継続することはあり得ぬことです。今年は米大統領選があり、欧州でも実体経済は底這ったまま。中国では香港問題が国家統治上の大きな火種で、日本経済も消費増税後の景気冷え込みが懸念されるなど、マーケットが調整局面に転換し得る材料は山積していて、極度な楽観ムードはある時突然変わるものです。

「セゾン号」乗客の皆さまには、そうした相場循環を達観して乗り越え、今年も決して投資行動を変えることなく、上昇時も下落局面でもコツコツと長期投資の旅を続けていただきたいと思います。世界経済が成長軌道を持続する限り、最高値は上下を繰り返しながらやがて切りあがって行くはずで、将来の果実を圧倒的に大きくするため、今年も一緒にゆったりと進んでまいりましょう！

代表取締役社長 中野 晴啓

### ご留意事項

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。投資信託に係るリスクや費用等は、それぞれの投資信託により異なります。投資元本の保証はありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

## 委託会社:セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第349号

加入協会:一般社団法人 投資信託協会

<https://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口:03-3988-8668 営業時間 9:00~17:00(土日祝日、年末年始を除く)

# セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド

## 12月の市場動向

### 株式

金融緩和の長期化が見込まれるなかで、米国と中国が貿易協定で部分的な合意に達したことを受けて上昇

米連邦公開市場委員会(FOMC)で政策金利の引き上げを急がない姿勢があらためて示され、金融緩和の長期化が見込まれるなかで、米国と中国が貿易協定で部分的な合意に達して、米国による追加関税の発動が回避されたことを受けて貿易摩擦の深刻化への懸念が和らぎ上昇しました。

### 債券

金融緩和の長期化観測が一段と強まったものの、米国と中国の貿易摩擦の深刻化に対する懸念が和らいで軟調な展開

米連邦公開市場委員会(FOMC)の参加者の大半が2020年末まで政策金利が維持される見通しを示し、金融緩和の長期化観測が一段と強まったものの、米国と中国が貿易協定で部分的な合意に達したことを受けて先行きへの不透明感が和らぎ、軟調な展開となりました。

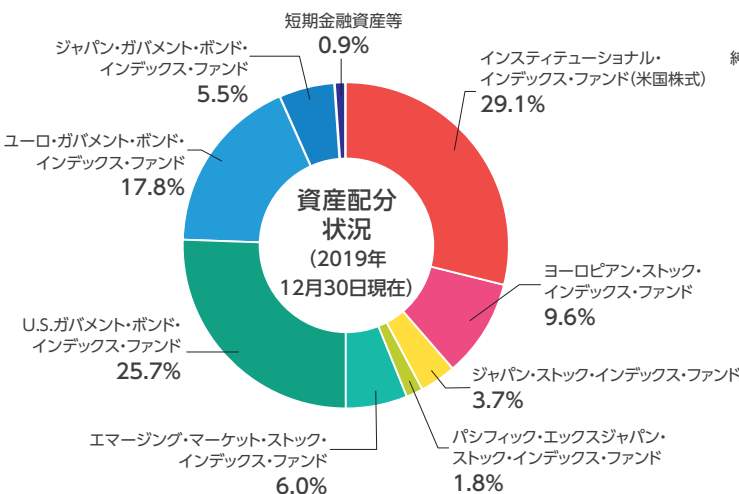
### 為替

金融緩和の長期化観測を背景にドルが下落し、ユーロが底堅く推移。円は軟調に推移し、対ドルで円高、対ユーロで円安

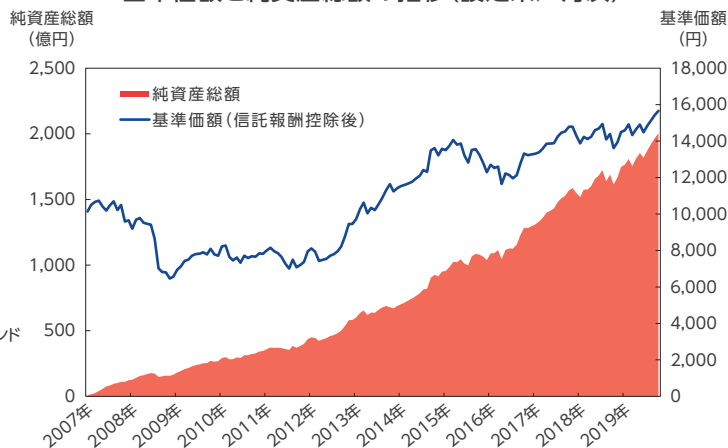
米連邦公開市場委員会(FOMC)で政策金利の引き上げを急がない姿勢があらためて示されたことを受けてドルが下落した一方、ユーロが底堅く推移しました。円は先行きへの不透明感が和らぎ、リスクを偏好する動きが強まるなかで軟調に推移しました。

### 基準価額と純資産総額及び騰落率(2019年12月30日現在)

基準価額	純資産総額	設定来騰落率	過去1ヶ月の騰落率	過去6ヶ月の騰落率	過去1年間の騰落率
15,660円	2004.9億円	56.60%	1.54%	6.87%	14.99%



### 基準価額と純資産総額の推移(設定来/月次)



## 12月の運用状況

### 今月の投資スタンス

今月は、株式・債券比率のリバランスを目的として株式ファンドの売却と債券ファンドの購入を行ったほか、定期積立プランなどのご購入により、皆さまからお預かりした資金を利用して、定められた投資比率に従って、債券ファンドの購入を行いました。

### ファンドマネジャーからの一言

今月は、債券に投資するファンドが全て下落したものの、株式に投資するファンドが全て上昇し、投資先ファンドが基準価額の上昇要因となりました。為替は、当ファンドの評価時点では、対ドルで変わらず、対ユーロで円安となり、基準価額の上昇要因となりました。結果、当ファンドの基準価額は上昇しました。

当ファンドでは引き続き、将来への予測に依存することなく幅広く投資を行うことでリスクを分散しながら、皆さまの長期的な資産形成に資することができるよう努めて参ります。

運用部長 瀬下 哲雄

図1 12月度の投資先ファンド価格の変動による影響

※月末の投資比率に基づく概算値/投資先ファンド通貨建て

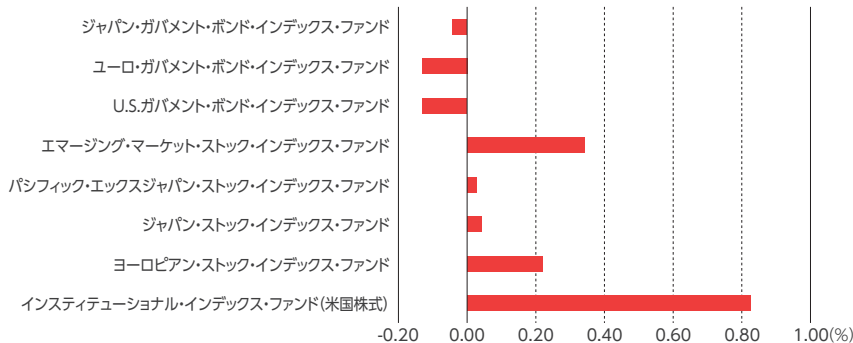
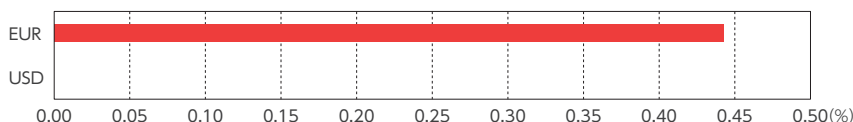


図2 12月度の為替変動による影響 ※月末の投資比率に基づく概算値



※変動要因については、右側の図1、図2もご参照ください。

※ファンドの基準価額は原則として2営業日前の株式・債券市場の終値を反映しています。

※詳細はセゾン投信HPに掲載しております「運用レポート(詳細版)」をご覧ください。

## 当ファンドに係るリスクについて

### ◆基準価額の変動要因

当社の運用、販売するファンド(以下、当ファンド)はファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としております。一般に、株式の価格は、個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は、市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受けます。〔「価格変動リスク」〕また、当ファンドは、実質的に外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受けます。〔「為替変動リスク」〕その他の当ファンドにおける基準価額の変動要因としては、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。したがって、投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により投資元本を割り込むことがあります。運用による損益は、すべてお客さまに帰属します。当ファンドは預貯金とは異なり、投資元本が保証されているものではなく、一定の投資成果を保証するものではありません。

### ◆その他のご留意点

当ファンドは、預金や保険契約と異なり、預金保険機構、貯金保険機構、および保険契約者保護機構の保護対象ではありません。加えて証券会社を通じて購入していない場合には、投資者保護基金の対象となりません。投資信託の設定・運用は委託会社がおこないます。

## 当ファンドに係る費用について

### ◆投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料:ありません。
- 信託財産留保額:換金申込受付日の翌々営業日の基準価額に0.1%の率を乗じた額が控除されます。

### ◆投資者が信託財産で間接的に負担する費用

○運用管理費用:ファンドの日々の純資産総額に年0.506%(税抜0.46%)の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的にお客さまにご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年0.61%±0.02%(税込/概算)となります。

※ファンドの規模に応じて変動する場合があります。

○その他費用:信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用(有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む)、監査報酬(消費税含む)、立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことができません。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

[Vanguard](日本語での「バンガード」を含む。)および「tall ship logo」商標は、The Vanguard Group, Inc. が有し、セゾン投信株式会社および承認された販売会社にのみ使用許諾されたものです。また「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」は、The Vanguard Group, Inc. および Vanguard Investments Japan, Ltd. より提供、保証又は販売されるものではなく、また投資に関する助言を受けていることを表すものでもありません。従って、The Vanguard Group, Inc. および Vanguard Investments Japan, Ltd. は当ファンド・オブ・ファンズの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

## 委託会社：セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第349号  
加入協会：一般社団法人 投資信託協会

<https://www.saison-am.co.jp/>  
お客さま窓口：03-3988-8668 営業時間 9：00～17：00 (土日祝日、年末年始を除く)